

## 不審電話に関する事例

### 案件①

平成25年7月22日（月）頃、長崎市の後期高齢者医療被保険者Bさん（80歳代・男性）宅に市役所を名乗る男性から電話があり、妻のCさんが対応。「医療費の還付があるので、0345-82-1786に電話をかけ、その際に整理番号712911と伝えてほしい」との内容で、折り返し電話をかけたが繋がらなかった。

その1時間後に再び電話があり、今度はBさんが対応し、先ほどの整理番号を伝えると、48,743円の還付が10日後に郵便局からあると伝えられたところで電話が切れた。再連絡を待っていたが、その後連絡はなく、不審に思ったBさんが市役所へ連絡したことにより当該事案が判明した。

### 案件②

平成25年7月26日（金）、13時過ぎ、長崎市の後期高齢者医療被保険者Aさん（70歳代・男性）宅に、市役所保険課を名乗る若い男性から、「社会保険料の払い戻しが約42,000円ある。

申請期限が過ぎているため、近くのコンビニまで出向いて、着いたら社会保険事務所(整理番号712-911)まで連絡してほしい」との電話があった。コンビニ近くで携帯から電話すると繋がらず、コンビニ店員からも詐欺ではないかとの指摘があったため、不審に思ったAさんが市役所に連絡したことにより当該事案が判明した。

**不審な電話等があった場合、広域連合、市町村後期高齢者医療担当または最寄りの警察へ御相談ください。**

**問い合わせ先：宮崎県後期高齢者医療広域連合**

**0985-62-0921 (業務課)**